

令和5年度大垣市環境審議会第1回会議 会議録

1 と き 令和5年10月18日（水）14:00～15:30

2 ところ 大垣市役所4階 情報会議室

3 議 題

(1) 令和4年度環境分野の個別計画の実績報告について

- ① 大垣市エコ水都環境プラン実績報告2022について
- ② 大垣市第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）実績報告2022について
- ③ 大垣市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）実績報告2022について
- ④ 大垣市第2次生活排水対策推進計画（大垣地域編）実績報告2022について
- ⑤ 大垣市第2次生活排水対策推進計画（上石津地域編）実績報告2022について

4 出席者（敬称略）

（委員） 10人

永瀬 久光	三輪 弘文	石丸 智之	後藤 文夫	澤藤 成人
豊田 充子	中村 佐和子	堀 弘明	佐々木 和美	三島 真弓

（市事務局） 6人

生活環境部長	青井 明彦
生活環境部環境衛生課長	小川 哲司
生活環境部環境衛生課主幹	山田 芳弘
生活環境部環境衛生課主幹	森井 信悟
生活環境部環境衛生課主任	松原 拓位
生活環境部環境衛生課主事	渡邊 直幸
生活環境部環境衛生課主事	久保山 理紗子
生活環境部環境衛生課主事補	市川 夏衣

5 欠席者（敬称略）

小林 信介	横井 香織	三輪 正直
-------	-------	-------

6 傍聴者

なし

7 報道関係者



8 発言要約

発言者	発言内容
(1) 開会	
小 川 環境衛生課長	皆さん、こんにちは。 本日は、大変、お忙しいところ、令和5年度大垣市環境審議会にご出席賜りまして、誠にありがとうございます。 私は、本日の司会を務めさせていただきます、大垣市環境衛生課長の小川でございます。どうぞよろしくお願いいたします。 皆さんには審議会委員の任期満了に伴いまして、引き続き、あるいは新たに委員に就任いただき、誠にありがとうございました。 それでは、石田大垣市長がご挨拶を申し上げます。
(2) あいさつ	
石 田 大 垣 市 長	本日は、大変忙しい中、令和5年度第1回環境審議会にご出席いただきありがとうございます。 また、改めまして皆様第9期となります大垣市環境審議会委員をお引き受けいただきましたこと、お礼を申し上げます。 どうぞよろしくお願いいたします。 この審議会は、平成19年の7月に施行しました大垣市環境基本条例に基づきまして、環境基本計画に基づく環境政策を審議していただきます。 大垣市環境基本条例は、私が市会議員の時、平成18年に、一般質問で、目標条例を作ってはどうかと提案させていただいたものでございます。 そういう中で進めていただいておりますので、皆様方には行政が出す様々な政策についてご意見を出していただき、私たちに教えていただきたいと思いますと思っています。 令和2年12月にゼロカーボンシティ宣言をさせていただいております。それから、目標の見直しを行い、2030年度に温室効果ガス排出量を2013年度比で46%の削減、そして、2050年度に二酸化炭素排出量をゼロにするという目標に向け、長い期間をかけて実現したいと思っておりますので、皆様からも様々なご意見、ご提言をいただきたいと思いますと思っております。 本日は、大垣市エコ水都環境プランそして大垣市地球温暖化対策実行計

	画の進捗状況について皆さんにご説明をさせていただきます。 それにつきましても、しっかりとご審議をいただき、またご提言をいただければというふうに思っております。 これからも市民と事業者と行政の三者が一体となって様々な環境行動を協働で取り組んでまいりたいと思っております。 これからもご協力を賜りますようお願いを申し上げますと共に、ご挨拶とさせていただきます。 よろしくお願いいたします。
(3) 委嘱状交付	
小 川 環境衛生課長	ありがとうございました。 それでは、ここで市長から委嘱状を交付したいと存じます。 【各委員に委嘱状を交付】 皆様方の任期につきましては、令和5年7月1日から令和7年6月30日までの2年間となっております。どうぞよろしくお願いいたします。 それではここで市長は公務のため退席をさせていただきます。
(4) 傍聴者の入室の可否	
小 川 環境衛生課長	続きまして、本日の審議会の成立のご報告をさせていただきます。 本日は、小林委員、横井委員、三輪正直委員から欠席とのご連絡をいただいておりますが、出席委員が過半数に達しておりますので、大垣市環境審議会規則第3条第3項により、本審議会が成立していることをご報告いたします。 なお、委員改選後、初めての審議会でございますので、会長、副会長が不在でございます。 従いまして、会長、副会長が決まるまでは、事務局で進行をさせていただきます。 それではまず、傍聴者の確認をいたします。 本日の会議の傍聴希望者はいません。
(5) 会議録署名者の決定について	
小 川 環境衛生課長	次に、本日の会議録署名者についてですが、事務局から指名させていただきます。 三輪弘文委員と石丸智之委員に、お願いしたいと存じます。
(6) 会長・副会長の選任	
小 川 環境衛生課長	続きまして、会長・副会長の選任に移りたいと思います。 審議会規則第2条第1項により、この審議会に会長・副会長を1名ずつ

	委員の互選により定めることとなっておりますが、いかが取り計ればよろしいか、お諮りしたいと思います。
澤 藤 委 員	事務局の方から案の提示をお願いします。
小 川 環境衛生課長	ただいま、「事務局案の提示」というご意見がございましたが、他に ご意見ございませんか。 他にご意見もないようですので、事務局案の提示をお願いします。
森 井 環境衛生課 主 幹	慣例により、会長は学識経験者から選任していただいておりますので、 会長には岐阜医療科学大学の永瀬久光委員に、副会長には後藤文夫委員に お願いしてはいかがでしょうか。
小 川 環境衛生課長	ただいま、事務局案として、会長に永瀬委員を、副会長に後藤委員と提 示させていただきましたが、いかがいたしましょうか。 それでは、承認がいただけるということであれば、拍手をお願いできま すか。 【拍手多数】 拍手をいただきましたので、それでは、会長に永瀬久光委員、副会長に 後藤文夫委員をお願いしたいと存じますので、よろしく願いいたします。 永瀬会長と後藤副会長におかれましては、席の移動をお願いいたしま す。 それでは、早速で申し訳ありませんが、永瀬会長からご挨拶を賜りたい と存じますので、よろしく願いいたします。
永 瀬 会 長	皆さん、こんにちは。 ただいまご指名いただきました永瀬と申します。昨年度に引き続き会長 を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いします。 委員の皆さまから活発なご意見を賜りますよう申し上げ、ごあいさつと させていただきます。
小 川 環境衛生課長	ありがとうございました。 続いて、審議会規則第3条第2項により会議の議長は、会長が務めるこ ととなっておりますので、永瀬会長に議長を務めていただきたいと存じま す。 永瀬会長、よろしく願いいたします。
(7) 令和4年度環境分野の個別計画の実績報告について	
永 瀬 会 長	それでは、議事に移らせていただきます。 議題の1「令和4年度環境分野の個別計画の実績報告について」、事務局

	から一括して説明をお願いします。
森 井 環境衛生課 主 幹	皆さん、こんにちは。 環境衛生課の森井でございます。よろしくお願いいたします。 着座にて説明をさせていただきます。 報告は、お手元の次第資料の各計画「実績報告の概要」にてご説明させていただきます。 また、別添資料としてお配りしております、カラー表紙の各計画の「実績報告書」には、詳細な実施状況等を記載しておりますので、後ほど、お目通しいただければと存じます。 それでは、次第資料の1ページ、資料No.1「大垣市エコ水都環境プラン実績報告2022の概要について」をお願いいたします。 計画の概要でございますが、趣旨につきまして、大垣市では、「環境基本計画」を「エコ水都環境プラン」と呼称し、「大垣市未来ビジョン基本構想」の施策のひとつである「みんなが安心するまちづくり」の実現を目指して、本市の環境施策の総合的かつ計画的な推進を図るものでございます。 計画の期間は平成30年度から令和9年度までの10年間で、望ましい環境像を「ハリンコが泳ぎ、ホテルが舞う水都・大垣」とし、「暮らしを変えて、未来に夢を」を合言葉に、展開する目標や推進施策を示しております。 この計画には、資料の1ページから4ページにございますように、5つの基本目標があります。 また、それぞれの基本目標に個別目標指標、26指標を設定しております。 また、4、5ページにございますように、5つの基本目標を推進するための施策、26施策があり、この施策に即した市の事業、130事業を展開しております。 資料の6ページにまいりまして、評価は計画の施策及び事業について、PDCAを活用したマネジメントシステムに基づき継続的な見直しや改善に取り組むため、毎年、実施状況进行评估するとともに進行管理を行っております。 実績報告させていただきます各計画ともに、評価の方法を統一し、表の左側「施策評価」につきましては、個別の指標につきまして、令和4年度

の実績値を進捗目標値と比較し、その達成度の割合に応じてA～Eの5段階で評価しております。

また、表の右側「事業評価」につきましては、基本目標を推進するための施策に即した市各部局の事業につきまして、令和4年度の事業の実施状況に応じ、実施した「A」から未実施「D」までの4段階で評価しております。

7～10ページが、施策評価の結果を示しております。

5つの基本目標に基づく26の個別指標につきまして、基準値に対し、令和4年度までの進捗目標値、実績数値、達成度評価を示しております。

令和4年度の評価は、A評価が13項目、B評価が8項目、C評価が1項目、D評価が1項目、E評価が3項目でございました。

このうち実績評価の悪かったものについてご報告をさせていただきます。7ページの基本目標1「豊富な地下水」におけるNo.3「市の魚ハリヨの啓発事業実施回数」がD評価となっています。

これは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントや講座等が開催できなかったことによります。

次に、8ページの基本目標2「低炭素化」におけるNo.1「公共施設の温室効果ガス排出量」がE評価となっています。

これにつきましては、次の大垣市第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）実績報告にて改めてご説明させていただきます。

次に、10ページの基本目標5「協働・連携」におけるNo.1「環境学習会・出前講座開催数」及びNo.2「環境イベントの開催数」がE評価、No.5「環境美化活動参加者数」がC評価となっています。

これらも、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントや講座等が開催できなかったことによります。

次に、11ページの事業評価につきましては、130事業のうち、129事業が実施済みでA評価ですが、1事業が未実施でD評価でございました。

D評価の1事業については、幼保園による、上石津地域での自然体験が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となったものです。

今年度、様々なイベントが再開されていますので、来年度は改善できるのではないかと考えております。

各事業の実施状況の詳細につきましては、別添資料No.1、オレンジ色の「実績報告書」に記載させていただいておりますので、後ほど、お目通しいただければと存じます。

引き続き、望ましい環境像の実現に向け、適切な事業実施に努めてまいります。

以上が、大垣市エコ水都環境プラン実績報告2022についての説明でございます。

続きまして、次第資料の13ページ、資料No.2「大垣市第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）実績報告2022の概要について」をお願いいたします。

計画の概要でございますが、趣旨につきましては、市役所自らが事業者、消費者の立場から、環境保全に向けた行動を率先して実施し、環境負荷の低減を図るとともに、市民、事業者の行う地球温暖化防止対策に配慮した自主的な取り組みを促進するものです。

期間は令和3年度から令和7年度までの5年間でございます。

計画の基本目標として、表にございますように、市が行う事務事業から発生する温室効果ガスの排出量を二酸化炭素量に換算し、排出削減率を目標数値として示しております。

一番上の市の各施設におきましては、令和元年度に50%以上削減、浄化センター、市民病院は、それぞれ全体で5%以上削減、クリーンセンターでの一般廃棄物の焼却、並びに浄化センターでの下水処理に伴い排出されるガスは、5%以上の削減を目標としています。

浄化センターにつきましては、処理する水の量によって使用するエネルギー量が変わりますので、水1,000m³あたりの原単位を評価としております。

また、市民病院では、稼働状況によって使用するエネルギー量が大きく変わりますので、空調面積と空調時間当たりの原単位で評価をしております。

一番下の協働分につきましては、一般廃棄物に含まれる廃プラスチックや合成繊維をクリーンセンターで焼却処分するときに発生する二酸化炭素、それから、浄化センターで下水を処理するときに発生するメタンなどの温室効果ガス排出量の合計で、これは市民の皆様との連携や協働によって減少することができるものですので、個別に目標を掲げています。

14ページにまいりまして、市の行う事務事業から発生する温室効果ガスの削減を図るために、6つの推進施策を設定し、22の推進項目に取り組むこととしております。

15ページにまいりまして、評価につきましては、他の計画と同様、PD

CAマネジメントシステムにより、実施状況を評価するとともに、進行管理を行っております。

16ページが施策評価の結果でございます。

令和元年度の基準値に対し、令和4年度の進捗目標値、実績値、達成度評価を示しております。

令和4年度は、先ほどエコ水都環境プランの実績評価でもお示しましたが、各施設では、12.0%の削減でE評価、浄化センターは24.6%削減、となり、A評価、市民病院は0.3%の削減でB評価、協働分は16.4%削減のA評価でした。

各施設の評価が良くなかったのは、特に総合体育館や武道館などの体育施設において、新型コロナウイルス感染症の関係で、令和3年度はこれらの体育施設は閉めており、稼働していない状況でしたので、使用するエネルギーがほとんどありませんでしたが、令和4年度はコロナが収まってきたというところで、稼働するようになりました。また、今まで使用していなかった換気扇や大型扇風機の稼働や換気をしながらの冷暖房の使用によって、電気の使用量が増加したこと等によるものです。

他の施設でも、まだまだ換気をしながらエアコンの使用をしているということがございますので、小中学校ですとか、その他の公共施設でもエネルギー使用量が増加していきます。

前回、こちらの計画を改定させていただいた際に、再生可能エネルギー電力を公共施設に導入することを進めていきますという目標を掲げさせていただきました。

ただ、電力事業の方が不安定で、ウクライナなどの情勢や、電気料金の高騰もあり、なかなか再生可能エネルギー電力を導入するといったところが行えていません。本年度につきましては、市の3つの斎場にて導入しております。年間約37万kWhではございますが、導入を進めているところでございます。

また、昨年度、公共施設等における太陽光発電設備導入の可能性を調査し、現地調査等から、太陽光発電設備を設置する優先順位の高い31施設を抽出しております。

今年度は、その調査結果を踏まえ、導入効果の高い施設等に対して、設置費用や維持管理の負担がかからない、「PPA方式」での太陽光発電設備導入を目指しており、これにより、温室効果ガス排出量の削減を目指していきます。

次に、17ページの事業評価につきましては、34事業すべてがA評価となっています。

各事業の実施状況の詳細につきましては、別添資料No.2、水色の「実績報告書」に記載させていただいておりますので、後ほど、お目通しいただければと存じます。

引き続き、温室効果ガスの排出削減に向け、適切な事業実施に努めてまいります。

以上が、大垣市第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）実績報告2022についての説明でございます。

続きまして、次第資料の19ページ、資料No.3「大垣市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）実績報告2022の概要について」をお願いいたします。

計画の概要でございますが、先ほどの「事務事業編」は、市役所自らが事業者、消費者の立場として、地球温暖化防止対策に配慮した自主的な取り組みを促進することを目的としていますが、この計画は、市をはじめ、市民や事業所等との協働により、温室効果ガス削減を全市的に推進するものでございます。

期間は平成29年度から令和32年度までの34年間で、市域の温室効果ガス排出量削減目標として、令和12年度までに基準年度（平成25年度）比46%削減、令和32年度までに実質排出量ゼロを掲げています。

市域の温室効果ガス排出量の実績につきましては、各種統計調査などの結果を用いて算定しているため、最新データで、令和2年度の実績となりますが、基準年度比18.3%削減であり、国の18.3%削減、岐阜県の19.3%削減と同程度の状況です。

基本方針には、5つの施策分野があり、20、21ページにございますように、それぞれに、個別目標指標、15指標を設けています。

また、21、22ページにございますように、5つの施策分野を推進するための20施策があり、この施策に即した市の47事業を展開しております。

23ページにまいりまして、評価につきましては、他の計画と同様、PDCAマネジメントシステムにより、実施状況を評価するとともに、進捗管理を行いました。

24～26ページが、施策評価の結果でございます。

5つの施策分野に基づく15の目標指標につきましては、基準値と令和4年度までの進捗目標値、実績数値、達成度評価を示しております。

	令和4年度の評価は、A評価が4施策、B評価が10施策、C評価が1施策でした。 実績評価の悪かったものについては、26ページの施策分野5「市民運動の推進と情報発信」におけるNo.2「環境に関する講座やイベント等の開催数及び会議等への出席数」が、C評価となっています。 これは、議題1でもご報告させていただいた通り、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントや講座等が開催できなかったことによります。 次に、事業評価につきましては、47事業のすべてが実施済みでA評価となっています。 各事業の実施状況の詳細につきましては、別添資料No.3、クリーム色の「実績報告書」に記載させていただいておりますので、後ほど、お目通しいただければと存じます。 引き続き、市域の温室効果ガス排出量削減に向け、適切な事業実施に努めてまいります。 以上が、大垣市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）実績報告2022についての説明でございます。
山 田 環境衛生課 主 幹	環境衛生課の山田でございます。よろしくお願いいたします。 着座にて説明をさせていただきます。 それでは、資料27ページ、資料No.4の「大垣市第2次生活排水対策推進計画（大垣地域編）実績報告2022の概要について」をお願いいたします。 こちらの計画の概要でございますが、趣旨につきましては、市民の協力のもと総合的、計画的に生活排水対策を推進し、生活排水による水質汚濁の防止を図るものでございます。 計画期間は平成27年度から令和16年度までの20年間で、基本理念は「水の潤いのあふれるまち」でございます。 基本方針は、2つで、健全な水循環の促進と、水文化を守る環境にやさしい暮らし方の促進でございます。 基本目標は、2つで、生活排水処理率100%と、水門川及び杭瀬川における水質環境基準の維持達成とするものでございます。 なお、目標指標にある水質環境基準につきましては、令和4年4月から、環境基準の見直しにより大腸菌群数を削除し、新たに大腸菌数が追加となっております。 資料の28ページにまいりまして、推進施策は、5つで、下水道の整備・

接続の促進、合併処理浄化槽への転換・普及促進、家庭でできる生活排水対策の促進、ブルーリバー作戦の継続、水環境に関する意識の高揚、関連部局の調整・近隣市町との協力、でございます。

資料の29ページにまいりまして、評価につきましては、施策評価として2指標を、事業評価として8事業を、他の計画と同様、PDCAマネジメントシステムにより、実施状況を評価するとともに、進行管理を行いました。

資料の30ページにまいりまして、施策評価の結果につきましては、A評価が1施策、B評価が1施策となっています。

資料の31ページにまいりまして、事業評価の結果につきましては、8の事業に対して、すべて実施しておりA評価となっております。

引き続き、生活排水対策の推進に努め、生活排水による水質汚濁の防止を図ってまいります。

なお、詳細な実施報告書は、青色の表紙、別添資料No.4にまとめておりますので、お目通しをお願いいたします。

以上が、大垣市第2次生活排水対策推進計画、大垣地域編、実績報告2022についての説明でございます。

それでは、資料33ページ、資料No.5の「大垣市第2次生活排水対策推進計画（上石津地域編）実績報告2022の概要について」をお願いいたします。

計画の概要でございますが、趣旨につきましては、市民の協力のもと総合的、計画的に生活排水対策を推進し、生活排水による水質汚濁の防止を図るものでございます。

計画期間は、令和3年度から令和22年度までの20年間で、基本理念は「自然とともにいきる快適なまち」でございます。

基本方針は、2つで、健全な水循環の促進と、水文化を守る環境にやさしい暮らし方の促進、でございます。

基本目標は、2つで、生活排水処理率100%と、牧田川における水質環境基準AA類型の維持でございます。

こちらの環境基準についても見直しが行われております。

資料の34ページにまいりまして、推進施策は、6つで、生活排水処理施設の適正管理、合併処理浄化槽への転換・普及促進、家庭でできる生活排水対策の促進、ブルーリバー作戦の継続、水環境に関する意識の高揚、その他水質改善策の推進、関連部局の調整・近隣市町との協力でございます。

	資料の35ページにまいりまして、評価につきましては、施策評価として2指標を、事業評価として8事業を、他の計画と同様、PDCAマネジメントシステムにより、実施状況を評価するとともに、進行管理を行いました。 資料の36ページにまいりまして、施策評価の結果につきましては、2つの施策ともA評価となっています。 なお、牧田川の大腸菌数が基準を超過しておりますが、これは自然由来の大腸菌が影響していると考えられ、引き続き、目標としてのAA類型を維持しております。 資料の37ページにまいりまして、事業評価の結果につきましては、8の事業に対して、すべて実施しておりA評価となっております。 引き続き、生活排水対策の推進に努め、生活排水による水質汚濁の防止を図ってまいります。 なお、詳細な実施報告書は、ベージュ色の表紙、別添資料No.5にまとめておりますので、お目通しをお願いいたします。 以上が、大垣市第2次生活排水対策推進計画、上石津地域編、実績報告2022についての説明でございます。
永瀬会長	ありがとうございました。事務局から資料のご説明をいただきましたが、ご質問ご意見等ございましたらご発言をお願いいたします。
永瀬会長	37ページで大腸菌数は基準を超過していますが、牧田川の水質環境基準はAA類型を維持しています、というのは、大腸菌以外の基準がAA類型を維持しているということでしょうか。 また、水門川と杭瀬川は何類型にあたりますか。
山田 環境衛生課 主幹	大腸菌以外の基準がAA類型を維持しているということです。 水門川はC類型、杭瀬川はA類型です。
石丸委員	資料10ページのアダプト制度登録団体数というところで、アダプト団体制度とはどんな制度かご説明お願いしてもよろしいでしょうか。 また、増やす取り組みとしてはどのようなことをしていますか。
小川 環境衛生課長	アダプト制度についてご説明します。アダプトとは、「養子縁組をする」という意味があります。公共空間を住民の皆さんが自分の庭のように清掃するという制度です。団体については、地域の老人クラブや会社等もございます。 現在、42団体登録していただいております。この活動が年3回以上とい

	うことをお願いしておりますので、コロナ禍で活動が行うことができず、登録を取り消した団体もございます。 基準年度の平成28年には44団体ございまして、そこから増える想定をしていたわけです。コロナが落ち着き、活動も再開されていることから、今後はまた増えると予想しています。 これにつきましては、市のホームページや広報等でご案内しております。
永瀬会長	15ページで、先程各施設に太陽光をつけられないか調査し、31施設を対象にするということでしたが、今年度はどのような状況でしょうか。何個か進んでいる状況でしょうか。
山田 環境衛生課 主幹	今年度の取組み状況ですが、昨年度31施設を有力候補とさせていただき、その中で実際に屋根につけられるかどうか、構造計算書の収集、各施設の改修計画をつめているところでございます。 また、他県で取組みを進めている市町村がありますので、どのように導入したか聞き取りを行いました。 プロポーザル方式という企業からの提案方式による採用制度を導入している市町村がほとんどでしたので、そのプロポーザル方式で進めるのか、もしくは仕様書ですが、どのような項目、例えばP P Aは、20年契約というものは多くありますので、20年と長期にわたる契約で何を条件とするかを調査しまして、来年度のプロポーザルに向けて、仕様書の調査を始めているところです。
永瀬会長	実際に稼働するのはいつ頃になるのでしょうか。
山田 環境衛生課 主幹	来年度プロポーザルを実施しまして、その後、環境省の交付金を申請する予定です。 令和7年度の導入を予定しております。 今のところ10施設ほど令和7年度に導入できたらなと思っておりますが、構造計算書を集めている段階で、調査中です。
石丸委員	3ページの森林整備事業における間伐面積ですが、基準値から令和9年の目標値まで50haから変わらないのですが、増やすという方向性ではないのでしょうか。
森井 環境衛生課 主幹	こちらの森林整備事業については、農政部局が行っていますので、詳細はわかりませんが、この数字については、市が独自に行っている間伐の面積を出しています。 実際には市だけではなく、県や国が行っている間伐もございます。以前

	は、国と県行っている間伐面積も合わせた数字を出していましたが、これらは年度によって大垣市で行わない場合もあり、数字が上がったり、下がったりするため、目標とするにはあまり良くないという意見があり、市が独自で行っているものだけを抜き出して目標としています。 上石津地域の森林で、ある程度大きくなったものについて間伐し、整備していくという形で、順次場所を変えながら実施しているというのが実質の状況です。
三島委員	資料No.2、13ページからの説明の中で、新エネルギー設備の導入について、大垣市として太陽光や地中熱利用ヒートポンプを導入していきたいとありましたが、地中熱利用とはどのようなものでしょうか。 また、具体的な計画はありますか。
森井 環境衛生課 主幹	地中熱利用というのは、世間一般で有名なものは、地熱というのですが、大垣市で特に推進しているのは、地下水の熱利用です。大垣市は水の都と呼ばれるほど地下水が豊富です。 地下水の温度は年中一定で、大体14～16℃です。 夏の外気温に比べれば低い。逆に冬は気温よりも温かいという特性がありますので地中熱と外気温の温度差をエネルギーとして利用するものです。 例えば、夏の冷房のときは地中熱で冷やされた空気をヒートポンプに入れることによって通常よりも電気代がかからない。冬は暖房に使う空気を地中熱が地下水の温度で温めることによって暖房にかかる電力を減らすことができる、というようなシステムがございます。 実際に公共施設では、市役所新庁舎に地中熱利用の施設がございまして、1階、2階の一部は地中熱を使っております。その他荒崎小学校や宇留生小学校にも導入しております。 その他、市民向けですが、一般家庭でも導入していただきたいということで補助制度を設けており、導入金額の最大1/2の額、上限80万円の補助を行っております。 地下水の未利用エネルギーを、大垣市の特徴として利用していただきたいということで、特別に上げさせていただいているものです。
永瀬会長	水洗化率が、89.3%ですすごいことだと思うのですが、頭打ちでしょうか、これ以上伸びるのでしょうか。
青井 生活環境部部長	市街化区域はほぼ下水になっています。下水道が整備されていない地域でどのくらいの方が接続を希望されるかアンケート調査を行ったところ、

	10～20%の方しか希望されていないという部分がありますので、ほぼ頭打ちという状況でございます。
永瀬会長	とてもいい数字だなと思います。 それでは、特に、ご発言もないようですので、議題につきましては、以上とさせていただきます。 その他、何かご意見等ございますか。特にないようですので、事務局にお返しします。
(8) 閉会	
小川 環境衛生課長	ありがとうございました。 これをもちまして、本日の会議を終了させていただきます。 本日は、ご出席賜り、誠にありがとうございました。

大垣市環境審議会